



# 明和病院だより



2019年8月号

## ★ 今年度の外来診療日について ★

次の日程を通常診療日とします。

- ・9/23(月)【秋分の日】
- ・10/22(火)【天皇即位礼正殿の儀】
- ・1/4(土) (ただし年末の12/28(土)は休診)

### (1) 訪問看護センター明和から皆様へ〈認知症の話〉

訪問看護センター明和は1997年に開設して今年で22年目になります。住み慣れた地域で安心して暮らせるお手伝いを行っています。高齢化社会といわれている世の中で、認知症になっても安心して過ごせるようになることが課題と言われています。現在多くの場面で、認知症の方にどのように支援すればよいのかわからないといった声を耳にします。

認知症の人にやさしい地域づくりの為の第一歩の取り組みは、少しばかりの「おせっかい」と言われています。たとえば、

- ① 近隣の人の見守り
- ② 安否確認
- ③ 困っている人への声かけ
- ④ ゴミ出しのお手伝い

このような少しのおせっかいで生活を整えることができます。



### 認知症の方への接し方の7つのポイント

- ① **まずは見守る**：認知症と思われる人に気づいたら一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守りましょう。
- ② **余裕をもって対応する**：こちらの不安や焦りは相手に伝わります。自然な笑顔で余裕をもって接しましょう。
- ③ **声をかけるときは取り囲まない**：取り囲むと恐怖心をあおります。
- ④ **前から声を掛ける**：認知症になると周りへの注意力が低下したうえに不安を抱えている場合も少なくありません。相手を驚かせないように、まずは正面から、優しくゆっくり声を掛けましょう。
- ⑤ **相手に目線を合わせて**：小柄な人の場合は体を低くして目線を同じ高さに合わせましょう。
- ⑥ **穏やかに、はっきりとした話し方で**：耳が聞こえにくい人が多いので、低い穏やかな声でゆっくり、はっきり、短いことばで話すように心がけましょう。

- ⑦ **相手の言葉に耳を傾けゆっくり対応する**：多くの情報を一度に処理することが難しくなっていきます。急がせたり複数の問いかけを同時に行うのは避け、相手の言葉、想いに丁寧に耳を傾けながらゆっくり接しましょう。  
(認知症サポーター養成講座テキスト参考)

認知症は慢性の経過を持つ疾患であり、関りにより影響を与えてしまうことがあります。デイサービスやショートステイを利用することは、認知症の人自身の心身の働きを保つだけでなく家族が「ホッ」とできる時間と介護を専門職にゆだねることで、心身のリフレッシュにもつながります。100人には100通りの介護があります。それぞれの工夫を多職種連携で共有しその方にあったケアが提供できることが望まれます。

訪問看護センター明和 訪問看護主任 中島淳美

### ★もし、認知症になってしまったら・・・

認知症対応型デイサービスがあります！

認知症対応型デイサービスは、利用者定員が12名以下となっています。利用者が少なく、一般のデイサービスよりもスタッフの配置が手厚くなっています。認知症の方は、大人数でのレクリエーションや共同作業、知らない人との交流を苦手とされる方が多く、一般のデイサービスでは落ち着かず、かえって興奮や引きこもりを起こされることもあります。そうした方でも、少人数で、介護が手厚い環境で、穏やかに過ごすことが可能な場所です。他にも、精神病院が行う医療保険によるデイケアも併用できます。入所を希望される方にはグループホームもあります。

看護や介護のことでお困りでしたら、訪問看護センターまでご相談ください。

明和居宅介護支援事業所 管理者 山形 まゆ美

### (2) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

- ・演 題：歯科の上手なかかりかた
- ・講 師：歯科口腔外科 部長 末松 基生
- ・日 時：8月7日(水) 14:00～15:30
- ・場 所：鳴尾公民館(Tel. 47-3838) ※無料(参加自由)



### (3) 職員募集のお知らせ<急募>

職員を募集しています。一緒に明和病院で働きませんか？  
詳細はホームページをご覧ください、人事企画課(代表0798-47-1767)までお電話にてお問合せください。  
◆ナースアシスタント(看護助手)



(編集発行人 事務部長 沖田 明弘)